

第三次 羽島市教育振興基本計画

計画期間 2026(令和8)年度～2030(令和12)年度

教育理念

未来の羽島を拓く人づくり

～ともに学び 笑顔あふれるまちを目指して～

羽島市教育大綱の基本理念である「未来の羽島を拓く人づくり」に向け、時代の変化を敏感に捉えた柔軟な対応を進めることにより、こどもも大人もともに学び、誰一人取り残されることなく活躍できるまちを目指しています。

基本方針

確かな学力と体力を身に付け、多様性を尊重し支え合う人づくり

こどもたちが志をもって自己の可能性を広げるために、安心して学べる教育環境を整え、確かな学力と健やかな体力、多様な他者とのかかわりの中で互いを理解し支え合う力を身に付けた人づくりを目指します。



施策Ⅰ

未来を切り拓く
確かな学力の育成

施策Ⅱ

豊かな心と
健やかな体の育成

教育理念の
実現のために

施策Ⅲ

多様なニーズに応える
学びの支援の充実

施策Ⅳ

こどもたちの学びを
支える教育環境の充実

施策 I 未来を切り拓く確かな学力の育成**I – 1 「ふるさと羽島」に誇りと愛着をもつ教育の充実**

- ・ふるさと教育の意義や意味を明確にしたカリキュラムの改善
- ・ふるさと教育の担い手の育成

I – 2 個別最適・協働的な学びの一体的な充実【重点】

- ・一人ひとりの子どもの状況に応じた学習の改善
- ・学習改善のための環境整備

I – 3 体験的な活動・探究的な学習の深化【重点】

- ・体験的な活動の充実に向けた取組
- ・探究的な学習の深化に向けた取組

I – 4 情報教育の充実及び教育DXの推進

- ・教員のITリテラシーの向上に向けて
- ・“情報モラル教育”から“デジタル・シティズンシップ教育”へ移行
- ・教育DX推進のための具体的なステップ

I – 5 グローバル社会で活躍する力の育成

- ・異文化理解・多文化共生
- ・外国語教育

I – 6 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実

- ・幼児一人ひとりに対応した教育の充実
- ・個に応じた教育の推進

施策 II 豊かな心と健やかな体の育成**II – 7 人権の尊重を基盤とする教育活動の推進【重点】**

- ・人権感覚を磨く教育活動の推進
- ・人権意識を高める教育の推進

II – 8 いじめの未然防止と早期対応の強化

- ・いじめに対する窓口を広げる
- ・教員に対する研修の充実
- ・子どもの心を耕すための対策

II – 9 子どもの安全・安心を守る防災教育の充実

- ・実践的な命を守る取組の充実
- ・「復旧・復興」の担い手となる取組の推進

II-10 健康教育と食育の推進

- ・子どもが主体的に取り組める健康教育の推進
- ・学んだことを広げる食育の推進

II-11 運動習慣の定着に向けた体力づくりの推進

- ・体育・保健体育の学習の充実
- ・運動習慣の定着に向けた取組の充実

施策III 多様なニーズに応える学びの支援の充実

III-12 不登校の子どもへの多様な学びの支援

- ・羽島市子どもサポートルームの周知と充実
- ・関係機関との連携を図り、不登校の子どもの居場所づくり
- ・社会的自立を育むための支援の向上

III-13 特別な支援が必要な子どもへの指導・支援の充実

- ・多様なニーズに応じた学びの場の充実
- ・早期からの切れ目のない支援体制の充実

III-14 外国にルーツをもつ子どもに対する支援の拡充

- ・子どもや保護者の能動的な活動を促す環境整備
- ・教職員の資質向上

施策IV 子どもの学びを支える教育環境の充実

IV-15 幼児期からの切れ目のない支援の充実【重点】

- ・教員と保育者の専門性を相互に生かした協働
- ・子どもの生活や学びの連続性の重視

IV-16 地域とともに創る学校を実現するためのコミュニティ・スクールの推進【重点】

- ・子どもを中心に捉えたコミュニティ・スクールの充実
- ・コミュニティ・スクール充実のための組織等の改善

IV-17 自ら学び続ける教員を育てる支援の充実

- ・教員が自らのキャリアプランを描き挑戦するための環境づくり
- ・教員の主体性を大切にした研修の設計

IV-18 教職員の働きがいのある職場環境の推進

- ・教職員が安心して働ける環境づくり
- ・教職員が自分のよさを発揮できる学校づくり

IV-19 安全・安心でよりよい教育環境の実現

- ・学校施設・設備の安全性及び利便性の向上

施策実施指標　具体的な施策の達成度

施策番号	項目	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
①	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う子どもの割合【学】	小 71.7% 中 71.5%	小 80% 中 80%
②	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う子どもの割合【学】	小 77.5% 中 80.0%	小 90% 中 90%
③	総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると感じる子どもの割合【学】	小 77.2% 中 79.7%	小 90% 中 90%
④	学習の中でPC・タブレット等のICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う子どもの割合【学】	小 84.7% 中 84.8%	小 90% 中 90%
⑤	CEFRのA1レベル相当(英検3級等)以上の英語力を有する生徒の割合	中 51.9% (令和6年度)	中 60%
⑦	自分にはよいところがあると思う子どもの割合【学】	小 78.3% 中 85.0%	小 90% 中 90%
⑧	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う子どもの割合【学】	小 96.8% 中 96.7%	小 100% 中 100%
⑨	命を守る訓練を、災害想定3種類以上、かつ年間5回以上(内、地域または保護者と連携した活動を1回以上)行っている学校の割合	46.2%	100%
⑩	朝食を毎日食べている子どもの割合【学】	小 91.7% 中 89.6%	小 100% 中 100%
⑪	新体力テストにおいて、総合評価C以上の子どもの割合【体】	小 60.6% 中 61.1%	小 80% 中 85%
⑫	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる子どもの割合【学】	小 70.7% 中 75.0%	小 80% 中 85%
⑬	特別支援教育を理解するための授業研究会や研修(校内研修含む)に参加した教員の割合	69.2%	100%

⑯	日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別な配慮に基づく指導を受けている子どもの割合	100%	100%
⑯	幼保小または小中間で、子どもが交流する活動や授業を行っている学校の割合	69.2%	100%
⑯	学校運営協議会が年に4回以上行われている学校の割合	53.8%	100%
⑯	教職員のストレスチェックにおける高ストレス者の割合	11.7% (令和6年度)	各年度において、前年度を下回る
⑯	学校施設の照明器具LED化実施済みの園及び学校の割合	42.8%	100%

※【学】全国学力・学習状況調査の質問内容

(対象は小学校及び義務教育学校6年生、中学校3年生及び義務教育学校9年生)

※【体】新体力テスト

(対象は小学校及び義務教育学校5年生、中学校2年生及び義務教育学校8年生)

※CEFRL…「Common European Framework of Reference for Languages」の略で、ヨーロッパ言語共通参照枠のこと。外国語の運用能力を測る国際的な指標。

※命を守る訓練…災害発生時に、児童生徒一人ひとりが自分の命は自分で守る意識を持ち、主体的に行動ができるよう、従来の避難の訓練に留まらず、災害種別やその状況、実施時間帯等を設定して、より実践的に行う訓練。

発行 令和8年 月

羽島市教育委員会事務局 教育政策課

TEL(058)393-4611 Email:kyoiku@city.hashima.lg.jp